

# あ い さ つ



市長 森 貞述

皆さま、新年あけましておめでとうございます。

平成21年の新春を迎え市民の皆さま方には、それぞれの希望に満ちた新しい年をお迎えのことと存じます。

年頭にあたり慎んで新年のご祝辞を申し上げます。

さて、昨年、史上最多の204の国や地域が参加した中国北京オリンピックが開催され、とりわけ世界の中での日本の若者の活躍は目覚しく、人々に大きな感動を与えてくれました。その会場となった中国蘇州で、昨年7月15日から19日まで「ロボカップ2008」が開催され、日本代表としてたかはま夢・未来塾のロボットクラブが参加し、見事2年連続となる世界一の偉業を達成しました。これは、私どもの地域が世界に誇る「モノづくり」の地域であることが内外に発信するとともに、モノづくりの精神が若い世代へと受け継がれている証と言えます。

また、昨年8月29日未明にありました集中豪雨では、岡崎市で二人の犠牲者を出す

とともに、県内各地において、未曾有の被害をもたらしました。被災された皆さまにお見舞いを申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

改めまして水災害の恐ろしさを思い知らされるとともに、今後とも引き続き、治水対策・災害対策を通じて、市民の皆さまとともに安全・安心なまちづくりの実現に向けて取り組んでいきたいと思っております。

昨年は、原油・原材料の価格高騰や金融危機の影響などによる世界的な景気減速にみまわれ、社会・経済の各般にわたり、改革の流れが一層加速している今日、都市が基礎自治体として時代の潮流を的確に捉え、創意工夫による活力と個性あふれる地域社会実現に向けた施策を積極的に展開していかねばならない時代となりました。

そのような中、本市におきましても、全国的な医師不足という大変厳しい時代の流れの中、地域医療の継続性を最優先に考え、本年4月より市立病院を医療法人豊田会へ民間移譲するため、現在、医療法人豊田会と協議を行っております。

市民の健康を守り、良質な医療サービスを提供するため、最善の努力を行ってまいりますので皆さまのご理解をお願いいたします。

終わりに、新春の門出にあたり、市民の皆さまのご多幸とご健勝を祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。